

大分県の社会経済再活性化に向けた主な事業者支援対策 (大分県総務部作成 9/28現在)

区分	支援メニュー	支援内容	予算額 (百万円)	実施(支給)時期											
				R3.4	R3.5	R3.6	R3.7	R3.8	R3.9	R3.10	R3.11	R3.12	R4.1	R4.2	R4.3
分野横断的な支援	(県) 応援金	【対象】 制度資金等の融資を受けた者 【給付額】 法人70万円、個人35万円	1,422 (R2繰)	6/30											
	(県) 事業継続支援金	【要件】 5~6月、8~9月の売上が30%以上減 【上限額】 法人30万円、個人15万円 時短協力金受給者等は対象外	2,610 (R3)	7/9~(5・6月分)、10/10前~(8・9月分)											
	(国) 一時支援金(R3.1~3) 月次支援金(R3.4~)	【要件】 売上が50%以上減 【上限額】 一時 法人60万円、個人30万円 月次 法人20万円、個人10万円/月	-	一時 ~5/31 月次 6/16~											
	(国) 雇用調整助成金	【対象期間】 ~R3.11月 【上限額】 緊急・まん防 15,000円/日 その他地域 13,500円/日	-												
分野別の支援	(国) G O T O トラベル	【対象期間】 ~R2.12.27 ※再開時期未定 【宿泊代金】 3.5/10、上限額14,000円/人・泊 【クーポン】 1.5/10、上限額6,000円/人・泊	-	再開時期未定											
	(県) 新しいおおいた旅割	【対象期間】 ~R3.12月末 ※再開時期未定 【宿泊代金】 1/2、上限額5,000円/人・泊 【クーポン】 上限額2,000円/人・泊	1,303 (R2繰) 3,500 (R3)	~5/9 6/14~8/17 再開時期未定、風子部分は継続											
	(国) 宿泊施設受入環境 (県) 整備緊急支援事業	【対象】 感染症対策機器、施設改修等 【補助率】 3/4 ※R2.5~R3.3分は1/2 【上限額】 750万円	2,085 (R3)	7/1~											
	(国) G O T O イート (味力食うぽん券)	【対象期間】 ~R3.8.15 【内容】 10,000円で12,000円分のクーポン券を配布	-	~5/9 6/14~8/15											
	(国) 時短要請協力金	【対象期間】 ①5.12~6.13 ②8.20~9.26 【給付額】 2.5~7.5万円/日 大企業は上限20万円/日	10,570 (R3)	①6/10~ ②9/中旬~											
	(県) 「安心はおいしいプラス」認証制度推進事業	【対象】 感染症対策に係る設備導入 【補助率】 10/10 【上限額】 30万円	1,285 (R3)	6/25~											
	(県) 公共交通活性化促進事業	【バス・フェリー等】 商品造成 2,000円/人 【バス】 既存の運行費助成制度を拡充 【タクシー】 UDタクシー導入 上限額60万円	189 (R3)	~5/9 6/14~											
	(県) ものづくり中小企業 コロナ危機対応再興支援事業	【対象】 新規分野挑戦等に要する経費 【補助率】 3/4~5/6 【上限額】 500万円	646 (R2繰)												
	(国) 県産農水産物学校 (県) 給食提供事業	【対象期間】 ~R3.2学期	100 (R2繰) 200 (R3)												
	(県) 木材消費拡大対策事業	【リフォーム】 増築39万円、内装37万円 【木塀設置】 住宅30万円、店舗等60万円	16 (R2繰) 358 (R3)												
(県) 芸術文化活動継続緊急支援事業	【対象】 イベントのキャンセル費用 【上限額】 300万円	30 (R3)	6/17~												

先日、別府市内で管理職をしている知人から切実なメールが届きました。知人に許可を得て、転載します。

コロナ禍、別府の中小企業は従業員の雇用確保のため、歯を食いしばって頑張っております。しかしながら、今のまま何も対策を打たないのであれば、せつかく今まで頑張ってきた企業も倒産してしまいます。昨年度、県が実施した納税等猶予について、コロナの収束が見通せない中、特例の納税猶予が1年で打ち切られました。そして、通常の厳しい催促となり、延滞利息も付けられています。「返済計画を出すように」と言われますが、コロナで売上計画を作れないのに、どうやって返済計画を作れと言うのでしょうか…

返答の言葉が見つかりませんし、胸が締め付けられる思いでした。新型コロナウイルス感染症の影響は2年近くに及び、様々な業種が困窮しています。とりわけ、大分県の基幹産業である観光は、経済波及効果が大きく、幅広く消費と雇用を生み出す重要な産業であり、元気で魅力あふれる大分県づくりを進めていくためには、落ち込んだ観光需要をいかにして立て直し、観光産業を振興していくかが重要です。

大分県観光統計調査によると、2020年の県内宿泊客数は、感染症の拡大及びその対策による移動制限等に伴い、年間で対前年比43.7%の減。特に、外国人宿泊客は、感染症拡大防止対策に伴う入国規制が影響し、88.6%減少しています。

県では上記のように様々な対策を講じていますが、事業の継続が瀬戸際まで来ている事業所も続出しています。現在、県議会において新型コロナウイルス感染症対策特別委員会【15名で構成 委員長 平岩純子議員 (大分市選出、県民クラブ)】が設置され、必要な対策を執行部に要請するため協議を進めています。委員である私も前述のメールも県民の声として出していきます。



私が所属しています県民クラブもHPを開設していますので御覧下さい。

<http://www.oct-net.ne.jp/kenmin-club/>

大分県議会 県民クラブ

検索

